

教育委員会 1月報告

令和6年2月1日

令和6年木曾岬町二十歳のつどい 開催

令和6年1月6日(土)、木曾岬町民ホールにて令和6年木曾岬町二十歳のつどいを開催した。今回の対象者は、平成15年4月2日から平成16年4月1日までの間に生まれた町内在住者、および町内出身者合わせて58名が対象で、そのうち42名が出席した。式典では、加藤町長のあいさつに続き、来賓や恩師からの祝辞やお祝いメッセージをいただき、厳かな中にも温かい雰囲気の中で執り行われた。

式典の最後に実行委員を代表して山田茉穂さんが謝辞を述べ、二十歳を迎えるにあたっての決意表明を行った。

コロナ禍以降、感染防止の観点からご家族の式典への同席を控えていただいていたが、今回は、ご家族の方も会場内に入り、晴れ姿を一緒にお祝いいただくことができた。当日出席された皆さんは、新たな門出を同級生とともに迎えることができ、喜びをかみしめていた。



こども園、小・中学校にて3学期始業式 挙行

令和6年1月9日(火)、こども園、小・中学校が3学期の始業式を挙行了。年末年始を家庭で過ごした子どもたちが久しぶりの再会を果たし、各園・学校では、たくさんの笑顔であふれていた。

小学校では、校長先生より最初に能登半島地震についての話があり、被災された方々を悼み、黙とうの時間が設けられた。続いて、3学期の学校生活についての講話があり、5つのめあてが示され、子どもたちは真剣な眼差しで話に聞き入っていた。その後、各教室では冬休みの宿題を提出したり、お正月の出来事についてお互いに語り合ったりして過ごした。

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| ①心も体も健康に過ごそう | ②学年のまとめ、次の学年の準備をしよう |
| ③夢や目標へのがんばりを振り返ろう | ④自分の名前をきれいに書けるように練習をしよう |
| ⑤交通安全に気を付けよう | |

なお、冬休み中は、こども園、小・中学校の園児・児童生徒は、大きな事故やけがはなく、無事に3学期を迎えることができた。

一生懸命練習に打ち込む!! ～美し国三重市町対抗駅伝に向けて～

令和6年2月18日(日)に開催される、第17回美し国三重市町対抗駅伝に向けて、チーム一丸となり、毎週日曜日に練習会を行った。大会当日、選手の皆さんが活躍する姿が期待される。

【1月の活動】

- | | |
|-----------|--------------------------|
| ○1月 7日(日) | 木曾岬町代表チーム練習会 |
| ○1月14日(日) | 木曾岬町代表チーム練習会 |
| ○1月18日(木) | 第4回実行委員会 |
| ○1月21日(日) | 雨天中止 |
| ○1月28日(日) | 木曾岬町代表チーム練習会
(マスコミ取材) |



大谷翔平選手から寄贈されたグローブが小学校に届く

メジャーリーグで活躍されている大谷翔平選手(ロサンゼルス・ドジャース)から寄贈されたグローブ3個(右投げ用2個、左投げ用1個)が木曾岬小学校に届き、令和6年1月18日(木)の全校観劇会の場で、校長先生からお披露目された。お披露目会では、6年生の児童代表4名がそのグローブを使ってキャッチボールを行い、子どもたちから大きな歓声が上がった。代表の児童は、「大谷さんのグローブを使って、みんなで野球がしたいです」、「このグローブがきっかけに、野球をする人が増えるといいなと思います」などの感想を話してくれた。

今後は学級ごとに回覧し、子どもたちがグローブに触れられる機会を持つ予定である。



小学校 学校公開(授業参観)を実施

令和6年1月23日(火)、小学校で学校公開(授業参観)が行われ、保護者の皆さんに午前中の授業を参観いただいた。子どもたちが、タブレットを活用して学習したり、仲間と協力して発表したりする姿など、1年間で成長した様子を参観いただくことができた。

また、20分休みには、ふれあいホールにて大谷翔平選手から寄贈されたグローブのお披露目会を企画し、保護者の皆さんにも寄贈されたグローブを手にとっていただく機会を設けた。



【授業参観の様子】



【グローブお披露目会の様子】

木曾岬小 文化資料館見学 実施

令和6年1月26日(金)、小学校3年生が文化資料館を見学した。小学校3年生は社会科で「昔の暮らし」について学習しており、その一環として毎年この時期に文化資料館への見学を実施している。

中には、初めて文化資料館を訪れたという児童もおり、館内の展示物に興味津々の様子であった。地域在住の方にゲストティーチャーを依頼し、昔の暮らしについて説明していただいた。昔の町内の生活を展示しているコーナーでは、「これ知ってる!」とか「何に使うのだろう?」など、思い思いの感想を述べ合っていた。また、ゲストティーチャーに積極的に質問したり熱心にメモをとったりする姿も見られた。

木曾岬町の昔の生活を知ることによって、これまでの学習が一層深まる貴重な機会となった。



中学1年生 キャリア教育「ようこそ先輩 2024 in Kisosaki」 実施

令和6年1月26日(金)、中学1年生において、キャリア教育の一環で「ようこそ先輩 2024 in Kisosaki」の学習を行った。今年度は2名の先輩を講師として招聘し、職業を選んだきっかけや仕事のやりがい、中学生の時にやっておいたほうが良いと思うことなどについて、1年生の生徒に語りかけてもらった。日頃、地域の大人と職業について話す機会があまりない中学生にとって、今回の学習は貴重な経験となった。

先輩からの「自分の夢ややりたい職業は決まっていますか。」という質問に対して、「決まっている」と答えた生徒は約半数程度であった。先輩からは、「まだ決まっていなくても心配することはないし、これから夢が変わっていくかもしれないので、今やるべきことをしっかりやって、諦めずにトライして欲しい」と、熱いメッセージをいただいた。生徒達は、2年生の1学期に事業所での職場体験を計画している。

